

スタディノートフォローアップ研修会 企画書

1 主催者 みちのく東北研究会 仙台支部

2 場 所 茂庭荘 会議室

〒 982-0251 宮城県仙台市太白区茂庭字人来田西 143-3

TEL 022-245-5141(代表) FAX 022-245-9930

3 日 時 平成 1 5 年 2 月 1 日 (土) ~ 平成 1 5 年 2 月 2 日 (日)

4 参加対象者

デジタルポートフォリオ等を取り入れて、コンピュータを授業に役立てたい方。
スタディノートに関心があり、実践事例や最新情報を知りたい方。
スタディノートを使った授業をしたことがある方で、自分の実践に振り返ってみたい方。
上記3点のうち1つでもあてはまる方

5 保証する研修成果

スタディノートの最新情報を知ることができる。
これまでの実践を振り返り、互いに情報交換することを通して、スタディノートを利用した活動について新たな視点を得ることができる。
学習活動にコンピュータを利用することについて、意欲を持つことができる

6 日 程

【平成 1 5 年 2 月 1 日 (土)】

1 2 : 3 0 受 付

1 3 : 2 0 開会行事 (司会 : 米谷 年法)

開会の挨拶 : 高橋 洋充

講師紹介 : 高橋 洋充

参加者自己紹介 (簡単に)

事務局より (研修会プログラムの説明・諸連絡) : 米谷 年法

1 3 : 4 5 研修 () デジタルポートフォリオとスタディノート (講師 : 余田義彦先生)

デジタルポートフォリオ学習活動

全国で行われている事例

スタディノートを活用するポイント

1 5 : 1 5 研修 () 終了

- 休 憩 -

1 5 : 3 0 研修 () 「これまでの実践を振り返ろう」(講師 : 米谷 年法)

各自のデータベースについての紹介を書いたノートを作成し、データベースに登録する。

ノートの内容 【ノートの題名は**活動名+学校名**とする】
データベースを作成したねらい 活動全体の計画
やってみてよかったと思われること 反省となった点
紹介したいノートへのジャンプボタンをつける その他

登録したノートをもとに簡単なプレゼンを行う。

17:30 研修() 終了・休憩・入浴

18:00 夕食・懇談

19:30 研修() 余田道場

応募されたデータベース等について余田先生から直接ご指導をいただく

活動全体について これからも大切にしたい点
こんな活動もあった方がよかったと思われる点
ぜひ付け加えた方がよかったと思われる点
感想 その他

22:00 研修() 終了

22:15 閉会行事

閉会の挨拶

事務連絡

22:20 研修会終了

【平成15年2月2日(日)】

9:00 「これからの活動について考えよう」 (講師:米谷 年法)

研修()~()で得た視点を基にして、今後の活動について考えてノートを作成する

ノートのポイント
(ノートの題名を「活動名+学校名」とする
活動の内容(どんな活動か)
活動の流れ
活動のねらい
スタディノートを利用するポイント

作成したノートをデータベースに登録する

登録したノートを見せながらプレゼンを行う

データベースをFD等にコピーする

11:00 閉会行事

閉会の挨拶

事務局から (アンケートへの協力をお願い等)

11:30 解散

7 スタッフ

みちのく研究会仙台スタッフ

講師 余田 義彦先生（同志社女子大学 学芸部情報メディア学科）

シャープSSP

8 機材

コンピュータ21台 ノートサーバ含む

コンピュータ21台によるネットワーク環境

スタディノート+ノートサーバ

MO・CD-R等のメディアを読み込むドライブ

プロジェクター

スクリーン

9 留意点

研修会で利用するデータベースについて

- ・ 事前に参加者から、スタディノートを利用した作成したデータベースや掲示板のデータを募集する。
- ・ 掲示板のデータは、データベース化する。
- ・ 集まったデータベースを結合し、一つのデータベースにまとめておく。（当日の諸準備を軽くするため）
- ・ 集まったデータベースをマップを利用して整理しておく。